

「すべては日常にあり」

校長 内山 茂

新年度が始まって約2か月が過ぎた。1年生は高校生活に馴染み始め、2・3年生はそれぞれ本校の中核、最高学年としての自覚を持ち、毎日の学校生活を送っていることを嬉しく思う。

さて、5月14日～16日、本年度最初の定期考査が行われた。結果はどうだっただろうか。良い点数をとった生徒、そうでない生徒等さまざまであろうが、要は「すべては日常にあり」である。考査直前のいわゆる「一夜漬け」は通用しない。日頃の授業にしっかりと臨み、予習・復習を欠かさないことが大切である。

このことは、部活動にも言える。5月30日から県高総体・NHK杯野球大会が始まるが、そこでの成績も「日頃の練習」によって決まる。考査や県高総体など、特別な時に日常とは違う自分が出ることはない。結局、勝負ができるのは「日頃の自分」の力なのである。

やがて、3年生は9月以降に進路決定の時を迎える。就職にしても、進学にしても、そこには試験という関門があるが、学科試験、面接試験ともに出るのは「日頃の自分」である。日頃から真剣に授業に臨み、部活動等で心身を鍛え、社会に出ても通用するあいさつやマナーを習得する学校生活を送って欲しい。

平成26年度「輝く私学支援事業」の取り組み

長崎県の指定事業である「輝く私学支援事業」も今年で3年目になります。本校では、生徒が主役という視点で取り組んでいます。今年度は、「生き方・在り方学習」、「職員研修、先進校訪問」に重点を置いた事業を実施します。

5月10日(土)には全学年対象の「進路ガイダンス」を実施しました。

また、6月12日(木)には1年生を対象に進路意識を高める「意識啓発講演会」、6月18日(水)には1・2年生を対象に、それぞれの学年に必要な進路学習について「進路講演会」を実施することになっています。

その他、保護者対象の講座・研修等を準備しています。御協力をお願いします。

「地域人づくり事業」特別指導員の紹介

平成26年度「生徒指導人材育成事業」の一環として、5月13日(火)から、全通併修を担当される先生をお迎えしました。

皆さんこんにちは。早田有理子と申します。

5月から全通の指導員として勤めています。普段は3階の全通併修の教室にいますので、授業でみなさんと顔を合わせるといふ機会はなかなかありませんが、会った時のみなさんの明るいあいさつと笑顔が大好きでいつも元気をもらっています。

心配事や悩み、勉強の質問がある場合など、相談に乗りますので気軽に声をかけてください。



早田有理子先生

進路実現のための心構え、進路ガイダンスを開催

5月10日(土)、佐実タイムを利用して、「生き方・在り方教育」の一環として、「進路ガイダンス」を開催しました。

全体ではそれぞれの学年で何を行うべきかを中心とした講演を行い、次に、各学年で就職、進学のコースに分かれ、それぞれにふさわしい分科会を実施しました。

1・2年生の就職コースは「自己分析とコミュニケーションゲーム」及び適性検査。2・3年生の進学コースは希望に応じた学校別分科会。3年生就職コースは3班に分かれ、面接時の心構えや基本動作を講師の先生から丁寧に指導していただきました。

生徒たちが、それぞれのコースで真剣に取り組んでいた様子が印象的でした。

3年生は進路決定を目前に控えています。今回の進路ガイダンスを十分に活かし、自分が希望する進路決定につなげて欲しいと思います。

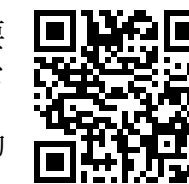


本校の生徒・保護者への情報発信をスムーズに!

本校の行事に関する連絡や災害時等、緊急にお知らせが必要な場合、個人で登録していただいた携帯やパソコンにメールを送信させていただくシステムを導入しています。

登録方法は、右の「QRコード」を読み取って登録画面に移動していただき、各項目に必要な事項を入力して登録してください。

是非、活用していただきますようお願いいたします。



登録ページ用